

2024年度生

Distinguished Learner 選抜入試

試験問題



TOKYO SEITOKU

次の会話文を読んで、【問】に答えなさい。

先生 「みなさんは、”ソーシャルグッド”という言葉を知っていますか？」

生徒A 「知らない。なんのこと？」

先生 「”ソーシャルグッド”とは、社会や世界をより良くするために善意や思いやりの心を持って行ういろいろな活動を総称した言葉です。
”各自が生活の中で環境のことをちょっと気にかけて行動をする”といったことから、
”企業がソーシャルグッドを意識した製品を作る”こと、また、”そのような活動をする人を支援する姿勢”など、ちょっとしたことから大きなことまで、だれもができる素晴らしいことを言います。」

生徒A 「ちょっとまだイメージできないや。」

先生 「”社会や世界をよくする”といわれると難しいことのように聞こえるでしょうが、私たちにもすぐにできることがたくさんありますよ。例えば道路や海岸にゴミを捨てないで、ゴミ箱に入れるように心がけたり、電気や水をムダにしないようにすること。一人ひとりの小さな行動で、美しい自然環境を保つことができます。また、みなさんが学校で学ぶこともソーシャルグッドの一部です。知識を得ることで将来に役立つスキルを身につけ、他の人々に役立つことができます。」

生徒A 「ちょっとわかってきた！生活の中でぼくたちができることもいろいろありそうだね。

まあ、生徒Bは自分の机の中をきれいにするとところからかな（笑）」

生徒B 「えー、だってついついプリントとかつめこんじゃうんだよね・・・」

生徒A 「ついつい面倒だからってことは結構あるよね。ぼくもついつい電気を付けっぱなしにしたままにしちゃうな～。これからはもうちょっと気をつけないと。」

先生 「ついつい面倒くさくてサボってしまうけど、きちんとできたらソーシャルグッドにつながることで色々ありますね。例えば、使わないときは電気を消すという行動はその一つです。」

生徒B 「センサーで自動で消える電気もあるよ。みんなそういう電気になればいいのにね。」

生徒A 「お金がかかるし、すぐにはできなくない？」

生徒B 「うーん・・・」

生徒A 「じゃあみんな考えてみようよ！工事したりしないでもみんながこまめに電気を消すようになる方法ってないかな？」

先生 「良い提案ですね。今日の特別活動ではそれをみんなで考えましょう。

まずは一人ひとりでアイデアを考える時間を作り、それからみんなで話し合いながら意見をまとめていくことにしませんか。」

生徒AB 「わかりました！」

先生 「では、まずは一人ひとりで考えるために【出題】という形で問いかけますね。」

【問】

すでに建物内に設置されている照明用のスイッチを使用する時に、**私たちがこまめに電気を消す気持ちになるような方法や工夫について考えて下さい。**スイッチの形状は一般に普及しているものであればあなたのイメージしたもので回答を進めて構いません。絵や文章で説明して下さい。

今回の出題は、ソーシャルグッドな行動をうながすことがポイントになります。例えば、自動で消えるようにボタンをおす機械をつけることや、スイッチを人感センサーにするなど、スイッチに機能をつけるという方法で解決しようとするものではありません。

スイッチの例. (解答用紙にはりつけて使いたい場合は申し出てください。)

